



読者のために

思わぬ不幸。でも佛のご加護を信じて：

東京都港区
山口 修先生

いつも『成寿』を興味深く拝読させていただいております。春季号に載せられておりました佐藤俊明先生の「中国八日間の旅」という紀行文は、私自身も何度か同じ経験をしているため、まさしく同感というところでした。私も昨年九月、上海より普陀山に渡り、寧波、天童寺、阿育王寺、さらに天台山に二泊という旅をいたしました。十月には西安五泊の旅を行い、一日は長安

の古刹を巡拝いたしました。そんなふうになんげに元氣いっぱいだった私ですが、この頃、自覚まったくなきまま肺癆に侵されており、十二月から一月末まで入院、この間二回の手術を受けるはめに陥りました。術後の経過は順調ですが、しばらくは通院せねばなりません。しかし体調はこうしてお手紙を書けるほどに回復しました。思いもかけぬ不幸にまわられたわけですが、み佛のご加護を祈りつつ、再び社会生活に復帰すべくがんばっていきたいと思います。

毎回驚かされる
『成寿』

東京都葛飾区
林 博明先生

毎回、『成寿』のすばらしい
ご文章、写真を拝見させてい
ただき、アツと驚かされてお
ります。今回二十二号は、表
紙の色の新鮮さを感じました。
また、中国太白山天童寺を歩
く写真も美しく、こんな所も
あったのかと再度思い出しま
した。天童山景德寺と如浄禪
師、興味深く読ませていた
きました。厚く御礼申し上げます。

みごとに人材教育
頭の下がる思いです

東京都世田谷区
芦辺 鎌禪老師

たいへんご立派で、中身の
濃い、本当に読みごたえのあ
るご本『成寿』、じっくり拝読
させていただいております。
天童寺のカラー写真にはとく
に驚きました。私も一度拝登
いたしました。私も一度拝登
のすばらしさは見落としてし
まったようでございます。で
すからこのたびのお写真でた
いへんよい勉強をさせていた
だきました。

また、育英会の方もますます

すこ盛んのご様子で、平素の
ご教化の上にもみごとに人材教
育、本当に頭の下がる思いで
毎回敬服申し上げます。

世界を千年単位で
眺めれば：

神奈川県横浜市
村石 恵照先生

『成寿』二十二号の読者
のたよりで、本間康一郎氏
(大法輪編集長)のお便りを見
て、ご縁の不思議を感じてお
ります。実は学生時代三十
年ほど前になりますが、私は
本間氏といっしょに総持寺の
摂心会に参加したことがあつ
たのです。とても嬉しい気持

ちになりました。

有為転変の世界ですが、千年単位で歴史を觀れば、世界は仏教的認識に向かつて静かに生成していることが感じられます。きつと黒田師もそのような大きな眼差しでものごとをごらんになっておられるのでございましょう。ますますご活躍を念じ上げております。

快適に坐に専念

東京都立川市
坂井 司様

黒田武志老師様には御元気で相変らず御活躍のことと

存じ上げます。誠に残念ながら、五月三十日の善光寺記念式典に出席できず、お詫び申し上げます。

実は五月二十八日早朝に帰国しましたが、月末までには非処理しなければならぬ急用二件発生しまして、祝典出席断念せざるを得なくなつた訳です。

さて、マレーシアの方、即ちリングム氏のメタ・ビラも大分整備されてきました。御老師御手植えの木も益々成長、今や三メートルを越す高さです。クテイ（独居禅室）の一つは改築されその前を約三十メートルばかり、経行の為の

舗装された小道も出来、更に延長予定です。六基ばかり鉄製の坐禅台が樹木に設けられました。月例の佛教団体の会合では参加者に喜んで利用されています。今回も私は一カ月余り行つて参りましたが今は快適に坐に専念しております。

さて来訪の佛教会の若い人を対象に禅に關し一筆書きしましたので御送付申し上げます。

合掌

生の終わりのときに
み佛に救われるような
生活を

神奈川県横浜市
岡田しな子様

善光寺さまには、主人亡き
あとより二十年の長い月日
をお世話になってまいりました。
なのに何のご奉仕することも
なく、心苦しい限りでござい
ます。平素から誠に信仰心薄
い罪深き私に、いつももった
いなきお心遣いをいただき、
ありがとうございました。ござ
いません。私も、残り少ない
生の終わりのとき、み佛のみ
手に救われたく、佛さまに帰
依する生活を一日一日してい

かなければと思う今日この頃
でございます。

辛さが大きいほど、次の
困難を乗り越えられる

大阪府
金田 孝子様

『成寿』の中の東郷さまの
「出逢い」、前号とともに感銘
深く読ませていただきました。
私の夫は、先代ナリス社長さ
まに助けていただき二十年、
物心ともに本当にお世話にな
り幸せな人生を終えました。
精神的にも、すばらしいさま
ざまなことを教えていただい
たようでございました。たと
えば困難にぶつかったときも、

「なぜそんなに辛いことをす
るの?」

との私の問いに、

「辛いことをやり遂げたとき
の快感は、やったものでない
とわからないよ」

と微笑んだり、

「辛さが大きければ大きいほ
ど、困難に出くわしたときに、
あのときのことを思えば、乗
り越えられる」と思うことが
できる」

といったり、そんな言葉な
どが思い出され、あらためて
感謝の思いを大きくいたしま
した。

善光寺さまの
ご縁がありがたくて

神奈川県横浜
市
國広敏郎・良子様

先月はお彼岸前後の最もお忙しいところを亡き母の納骨式と七回忌の法要を誠にありがとうございました。おかげさまで無事納骨することができました。

それにいたしましたとしても、故郷の観光資源としてのほかは、活きた役割を失ったかに見える寺に比べ、善光寺さまのように活き活きとした役割を果たしているお寺にお仕えすることができ、私どもたいへん

幸せです。コミュニティと、そこで生活している人がますます発展されますことをお祈り申し上げております。

*

このたびは、黒田方丈さまにおめもじさせていただきました上に、いろいろとお話を賜り、ほんとうにありがとうございました。心安んじて帰宅させていただきました。方丈さまはじめ、たくさんの御僧により、もったいないような法要をあげていただきました。厚く厚く御礼申し上げます。善光寺さまとのご縁をいただきまして、夫ともどもあらためてこの上なく嬉しくあります。

たく感謝申し上げます。私もどうしても一緒に御礼申しあげたくて、一筆したためさせていただきました。

たくさんのお便りありがとうございました

★黒田ご老師さまのお話を聞きするたびに、ご活躍に感謝しております。私も還暦を迎え、これからの人生、如何にと考えておりますが、一度ご老師さまにご教示いただきたいと思っております。

神奈川県 波多野牧通様

★『成寿』二十二号では、私にとりましても思い出の多い中国・太白山天童寺や、ボロボドール・トラジャなどの特集、嬉しくありがたく拝読しました。

東京都 久保田展弘様

★天童寺の写真、本当にすばらしいですね。私も一度、行ってみたかったです。

東京都 矢澤 利彦先生

★内容豊富で立派な『成寿』、いつも恵光寺の方に回覧いたしまして、多くの方に読んでいただいております。

栃木県 小川 順様

★中国太白山天童寺のみごとなカラー写真に、大本山永平寺を想い、感銘を受けました。

神奈川県 木暮 子郎様

★天童寺の写真と記事、懐かしく拝読させていただきました。毎号、資料として保存させていただきます。

『在家仏教』編集部

内藤喜八郎様

★このたびの『成寿』はまことに圧巻でありました。尊い布教がありがとうございます。

東京都 井高 帰山様

★毎回『成寿』を興味深く拝

読させていただいております。とくにご住職の東奔西走のご活躍、留学僧の方々のお便り、伊藤三喜庵先生の佛画等に心温まる思いをいたしております。佛教者の国際交流がますます盛んになりますことを期待申し上げます。

桜井 雄三様

海外でも
がんばっています！

小島の一角から
誠意をこめて

葉 阿月先生 台湾

黒田ご老師さまをはじめ奥さま、皆々さまには、相変わらずご清栄にてご活躍のことと嬉しく存じます。このたびお送りいただきましたご教示ならびに貴育英会留学僧の近況を見て、ご立派なご活躍に驚くばかりでございます。こ

の小島の一角から、誠意をこめて、貴寺のますますの発展をお祈りいたしますとともに、世界の多くの留学僧…とくにこの小島と南大陸の留学僧に對してご懇切なお世話をいただきましたこと、衷心深く感謝しております。どうぞ、この小島へご光臨くださいませよう、心からお待ち申し上げますております。

元気でやっています

松本文彦・純子様 イラン

イランの生活にも慣れ、元気でやっています。来年の広

島のアジア大会で日本に行くことが決まりました。おかげさまで今年にはアジア五位に入り、その上イスラム圏大会で優勝し成績は順調です。当地での滞在も延長され、帰国は一九九五年になります。お逢いできる日を楽しみにしております。

私のいちばんのおともだちです

マナット・ウィモンラット様 タイ

クロダさん、あなたはおげんきですか。私はクロダさんがたいへんすきです。あなたは私のいちばんのおともだち



です。私はたいへんうれしいです。あなたはいつタイにきてくれますか。ワタシにてがみをかきください。あなたのかぞくもあなたもおげんきですか。私のかぞくも私もげんきです。私のかぞくのしゃしんをクロダさんにあげます。

ではおげんきでかつやくしてください。クロダさん、さようなら。(原文ママ)

サハラ砂漠の 幻の町にて

セネガル共和国
伊藤 博先生

マリのティンバクトウは、シルクロードと同じく重要な経済文化の交流点でしたが、今ではサハラ砂漠の幻の町という雰囲気です。砂ぼこりのため、午後四時には太陽の光が薄暗くなるほどです。隠れクリシタンのように回教徒の迫害を逃れて、断崖絶壁に住み着いたドゴン族の部落も圧

巻でした。が、そこに行くのがまた死ぬほどの苦しみ。とにかく、三週間の西アフリカ旅行も無事終わり、ホッとしています。

お便りを募集します

いつも温かいお便りをありがとうございます。成寿では読者のページを心ふれあう豊かなものにしていきたくと考えています。みなさまからの楽しいお便り、ご意見、ご感想をお待ちいたしております。